

種目名[ 国語 ] No. 1-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 38 光村 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	エ 「読むこと」の学習で身に付けた力を「書くこと」の学習に効果的に結び付け、「言葉の力」の習得と活用を促している。	エ メールの書き方やその場にふさわしい言葉遣いなどなどこれから必要なスキルも掲載されていて分かりやすい。	イ 読むことの学習において「言葉に着目しよう」という項目を設定し、文中に出てくる着目すべき表現や語句を取り上げている。
<u>(2) 構成・分量</u>	イ 「見通す」「取り組む」「ふり返る」という三つのステップを繰り返して学習することで、「言葉の力」を獲得できるようにしている。	イ 「見通しをもとう」「ふりかえろう」「ここが大事」で学習の見通しや大事なことが分かりやすい。また「言葉を増やそう」で、単元と関わりのある語彙を増やすことができる。	イ 学習構成が「見通し」「問い」「考える」「まとめる」「ひろげる」となっており、学習課題の設定と考えの形成の過程が明示されている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 入門期では、従来よりも促音・拗音の小書きの文字を小さくして判別しやすくしている。	イ 低学年の物語では挿絵がふんだんに使われており、文章理解の助けとなる。マンガや新聞が取り扱われているページは読み比べができ、分かりやすい。	ア 低学年では、太い教科書体を使用し、低学年児童にとって認識しやすい文字となっている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 6年生では「「永遠のごみ」プラスチック」という説明文が掲載されている。令和3年4月に「狛江市ゼロカーボンシティ宣言」を発出している狛江市と関連のある題材である。	ア 「手話」や「世界遺産」などの題材を取り上げ、SDGs・ESDに取り組みやすい内容となっている。	ア 持続可能な社会の実現のため、国際理解教育、平和教育、環境教育等、多くのSDGsに関連するテーマを幅広く取り上げている。

種目名[ 書写 ] No. 2-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 38 光村 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	イ 3年生の毛筆のまとめとして「水」を取り上げ、既習の5つの点画の筆使いを学習できるようにしている。	イ 3年生でカタカナ「ビル」を取り上げ、曲がりや折れの筆使いの違いを確認しながら学習できるようにしている。	イ 3年生の毛筆のまとめとして漢字二文字の教材「水玉」を学習することで、4年生の文字の組み立ての学習につなげている。
<u>(2) 構成・分量</u>	ア ①硬筆から課題を見つける ②毛筆でたしかめる ③硬筆に生かす という3つのステップを踏んで学習する紙面構成になっており、毛筆の学習にとどまらず、日常の硬筆で学んだことを意識することができる。	ア 毛筆教材のあとに「レッツ・トライ」、「書いて 伝え合おう」のページを配列し、習得した書写の力を日常生活に活用できるように教材を構成している。	ア 低学年での硬筆教材では、筆順から字形へと発展した構成になっている。毛筆教材では、簡単な筆遣いから順を追って漢字、組み立て配列と発展させた構成になっており、文字の書き順や特徴に沿った運筆に重点が置かれている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 毛筆・硬筆のどちらについても、学習事項のポイントを「書写のかぎ」として分かりやすく示している。	ア 書字のポイントが赤の太字で示されていたり、穂先の通り道を朱墨で示していたり、筆使いを理解しやすい扱いとなっている。	ア 猫のキャラクターを用いて、筆運びや力加減を視覚的に捉えられるようにしている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 手紙の書き方やはがきの書き方を取り上げており、狛江市の絵手紙の学習と関連付けられる。	ア 各学年で「手紙・はがき」を書く活動を系統的に取り扱っており、狛江市の絵手紙と関連した指導がしやすい。	ア 3年生では「手紙の書き方」、4年では「はがきの表書き」等あり、「絵手紙」を書く際に活用できる教材が扱われている。

## 〔 社会 〕 No 3-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 116 日文 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という問題解決の流れが提示されている。 ウ 各単元に「いかす」「ひろげる」を提示することで、学習内容を基盤とした発展的な授業を展開しやすくなっている。	ア 「つかむ」「調べる」「まとめる」の構成が明記してある。 ウ 児童が個々の関心や意欲に応じて活用できる、読み物を中心としたページがある。	ア インタビューが多く、様々な産業で働く人の声に児童が触れやすい。 ア 学習問題に対する児童の考えを例として、多く掲載している。
<u>(2) 構成・分量</u>	ウ 5・6年は大單元ごとに分冊になり、単元のつながりとして把握しやすく、重量的にも配慮されている。	ア 「みんなでつくった学習問題」と「この時間の問い」を載せてあり、単元全体の学習問題と単位時間の問題を区別できるようになっている。	ア 見開きの中に複数の資料が載っているため、様々な観点から情報を読み取ることができる。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア どの学年も写真や図、グラフなどの資料が多く充実し、児童の思考・判断を促すことができる。	ア 歴史單元における学習資料について、いくつかの写真のカラー化が行われている。	ア 見開きで比較しやすいようにイラストが掲載されている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	ア 4年生は、狛江市の社会科副読本と併せて活用することで、身近な地域の事柄として実感をもって学習に取り組める。 イ 各単元に、二次元コードがあり、ワークシートなど授業に活用できるものにアクセスできる。	ア 東京2020オリンピック・パラリンピックについての記載があり、学校2020レガシーとの関連が図れる。 イ 二次元コードによる資料・コンテンツが載せてある。	ア 4年生で狛江市の水辺の楽校を扱ったページがあり、取り組みやすくなっている。 イ 二次元コードが豊富にあり、一人1台端末を活用した個別最適な学びに活用しやすい。

種目名[ 地図 ] No. 4-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 46 帝国 ]	発行者の番号・略称[ ]
(1) 内容の選択	<p>ア 5・6年の学習内容に関連した資料地図、統計が掲載されている。</p> <p>イ 地図のきまり・地図の使い方を漫画形式で説明して、親しみやすくしている。</p>	<p>ア 東京都全体や都心部、江戸時代後期のページがあり、調べ学習がしやすい。</p> <p>ウ 外国語のあいさつが載っていて、外国語活動とのカリキュラムマネジメントが図れる。</p>	
(2) 構成・分量	<p>ア おおまかには、世界地図、日本列島の地図、地図の見方・使い方、日本の地方毎の地図、世界の大毎の地図、資料地図・統計表の順で構成されている。</p>	<p>ア 「地図マスターへの道」があり、地図帳に興味をもって学習することができる。</p> <p>イ 歴史と関連付けられた資料があり、第6学年の学習にも対応できるよう考えられている。</p>	
(3) 表記・表現	<p>ア ふりがなや図、文字が大きく、非常に見やすい。</p> <p>ウ 「マップにジャンプ」を活用し発展的な学習に取り組める。</p>	<p>ア 写真が多く配置されている。</p> <p>イ コントラストがはっきりしていて、土地の高さの違いが分かりやすく、大切な情報や言葉も目立つようになっている。</p>	
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 東京都の学習で、23区のことを学ぶ際に、拡大地図があるため地域の様子を俯瞰しやすい。</p> <p>イ 二次元コードがあるため、地図帳にない情報も得ることができる。</p>	<p>ア 関東地方南部が載っている地図に狛江市の表記がある。</p> <p>エ 二次元コードを読み取ると、地図帳内の問題の解答や、方位・縮尺・等高線の解説を動画等で見るることができる。</p>	

郎

種目名[ 算数 ] No 5-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 4 大日本 ]	発行者の番号・略称[ 11 学図 ]
(1) 内容の選択	<p>ア 1年繰り上がりのあるたし算では、さくらんぼ図で計算する部分を○で囲む説明がある。</p> <p>ア ひし形の面積公式では、（一方の対角線）×（もう一方の対角線）÷2と表示している。</p> <p>ア オープニングムービーを利用した導入を行うことができる。</p> <p>ウ 「今日の深い学び」では、思考力、判断力、表現力の伸長を図れるような工夫がある。</p>	<p>ア 1学年の繰り上がりのあるたし算では、さくらんぼ図で計算する部分を丸で囲む説明がある。</p> <p>ア 1学年の繰り下がりのあるひき算では、減減法の考え方も詳しく説明している。</p> <p>ウ 「プラスワン」では、習熟度別に学習を進められるような工夫があり、知識及び技能の確実な定着を図れるような工夫がある。</p>	<p>ア 演算決定を理解するためにページを多く使用している。（小数のわり算など）</p> <p>ア 台形の面積公式として独自の式を掲載している。（中央線×高さ）</p> <p>ウ 「?をかいつ」では振り返りを行い、「つなげたいな」では思考力を深める新たな問いが提示されている。</p>
(2) 構成・分量	<p>イ 1学年：スタートブックあり2冊</p> <p>2 3 4 5 学年：上下巻</p> <p>6 学年：1冊</p>	<p>イ 1学年：スタートブックあり2冊</p> <p>2 3 4 5 6 学年：1冊</p>	<p>イ 1 2 3 4 5 学年：上下巻</p> <p>6 学年：1冊+中学校へのかけ橋</p>
(3) 表記・表現	<p>ア まとめや、その授業で大切な見方・考え方が子供のキャラクターの発言として取り上げられている。</p>	<p>イ 要所要所で補足がついており、学習内容の理解の手助けとなっている。</p>	<p>ア めあてが、子供の言葉で、吹き出しで示されている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>ア 二次元コートがあるページに、Dマークの記載がある。</p>	<p>イ 登場するキャラクターに外国の児童がいる。</p>	<p>イ A4サイズで横幅が長い。</p>

郎

種目名[ 算数 ] No 5-2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 61 啓林館 ]	発行者の番号・略称[ 116 日文 ]
(1) 内容の選択	<p>ア 演算決定を理解するためにページを多く使用している。（小数のわり算など）</p> <p>ア 葉の面積を概形として考えて計算する活動がある。</p> <p>ア ひし形の面積公式では、（一方の対角線）×（もう一方の対角線）÷2と表示している。</p> <p>ウ 「算数ワールド」では、思考力、判断力、表現力の伸長を図れるような工夫がある。</p>	<p>ア 1学年の10のブロック図は5個×2列の配置で示している。</p> <p>ア 1学年の繰り下がりのあるひき算では、減減法の考え方も詳しく説明している。</p> <p>ウ 「学びをいかそう やってみよう」「見方・考えを深めよう」では、思考力、判断力、表現力の伸長を図れるような工夫がある。</p>	<p>ア 上巻巻末に「学び方ガイド」が用意され、「学び方の4ステップ」と「算数で使いたい見方・考え方」が示されている。</p> <p>ア 1学年の繰り下がりのあるひき算では、減減法の考え方も詳しく説明している。</p> <p>ウ 「なるほど算数」「算数ジャンプ」では、思考力、判断力、表現力の伸長を図れるような工夫がある。</p>
(2) 構成・分量	<p>イ 1 5 6 学年：1冊</p> <p>2 3 4 学年：上下巻</p>	<p>イ 1 学年：スタートブックあり 2冊</p> <p>2 3 4 学年：上下巻</p> <p>6 学年：1冊</p>	<p>イ 1 学年：スタートブックあり 2冊</p> <p>2 3 4 学年：上下巻</p> <p>5 6 学年：1冊</p>
(3) 表記・表現	<p>ウ 紙面がシンプルで、色合いが暗色系で落ち着いている。</p>	<p>ア 3 学年以上の割合では、基準数の何倍かという見方・考え方を働かせるような関係図がある。</p>	<p>ウ 索引に英語も併記され、外国語との関連が図れるようになっている。</p>
(4) 使用上の便宜・その他	<p>イ 2次元コードには、考え方の説明がある。</p>	<p>イ 「わくわくプログラミング」では、スクラッチとオリジナルのコンテンツが用意されている。</p>	<p>イ 5 6 学年では、しおりのひもがついていて、どこを学習しているか分かりやすい。</p>

種目名[ 理科 ] No. 6-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 4 大日本 ]	発行者の番号・略称[ 11 学図 ]
(1) 内容の選択	ウ 単元末の「こんなところにも！」では、生活場面や学術的な内容について示している。	ア 児童の疑問を引き出すような効果的な写真を使って、導入するように工夫している。	ウ 実験の最後に、主体的に取り組むために、さらに調べてみると面白い「もっとしりたい」を載せている。
(2) 構成・分量	イ「思い出そう」では、前に解決したことや経験したことについての内容を示し、問題解決につなげるよう工夫されている。	ア 問題・予想・実験・考察・結論までの流れを、全学年一貫して取り上げている。	イ 各実験で考察をするときに、結果とどのように比べて書くと良いのかのヒントの文が載せてある。
(3) 表記・表現	ア 問題解決の流れが視覚的に分かりやすく示されている。	ア 大きく鮮明な写真、シンプルな図を多用し、変化を明確にしたり児童の関心、意欲を高めるよう工夫したりしている。	ア 実験結果を予想するときに、教科書に直接書き込むことができるようにしている。
(4) 使用上の便宜・その他	ア 5学年では、「流れる水のはたらき」では、2016年の大雨に際の、狛江市付近（小田急線鉄橋）の多摩川の様子を記載している。	ア 6学年では、多摩川の取り組みとして「狛江水辺の楽校」、5学年では、こう水への備えとして「こう水ハザードマップ」取り上げている。	ア 各学年の単元ごとに、SDGsのどの目標につながるのかを示してあり、裏表紙に載せている。 イ プログラミングの学習内容で、市内各校にあるマイクロビットを取り扱っている。

種目名[ 理科 ] No. 6-2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 26 信教 ]	発行者の番号・略称[ 61 啓林館 ]
(1) 内容の選択	ア 問題をつかむ場面と結果、考察の場面でページを分けている。また、結果を次のページで確かめられるようにしている。	見本本の送付がないため、調査研究結果なし。	イ 二次元コードを読み取ると実験でつまずくところにヒントとなる動画があったりするなど、配慮されている。
(2) 構成・分量	イ 単元の初めに前学年で学んだことや次の学年や中学校で学ぶ内容を示し、つながりが分かりやすくなるようにしている。		ア 「思い出そう・問題をつかもう」→「問題」→「計画」→「予想」→「実験・観察」→「考察」→「まとめ」というサイクルで単元を繰り返していて、無理なく問題解決の力が身に付けられるようになっている。
(3) 表記・表現	ア 実験・観察・結果・考察・結論のそれぞれで分かりやすい表や写真、図等が記載されている。		ウ 子供のイラストが、人権に配慮したものになっている。
(4) 使用上の便宜・その他	ア 「流れる水と土地」では、多摩川の写真が掲載されている。		ア 「流れる水のはたらき」では、多摩川の写真が掲載されている。



種目名[ 生活 ] No. 7-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 4 大日本 ]	発行者の番号・略称[ 11 学図 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	<p>ア 四季の変化が、自然だけでなく、町や人々の様子からも分かるようになっている。</p> <p>エ 活動の注意を示した「やくそく」が随所に掲載され、安全に学習に取り組める。</p>	<p>ア 季節の流れに沿った単元の構成になっている。</p> <p>エ プレゼンテーション能力を育成するための工夫がされている。（「はっぴょうかい」「はなしあいめいじん」など）</p>	<p>ア 入学してからの児童の生活や学習の流れに即した内容で活動がよく分かるようになっている。</p> <p>ウ 次の発展的な活動へつながるヒントとなる吹き出しが、随所に示されている。</p>
<u>(2) 構成・分量</u>	<p>ア 「つながる ひろがる」では、合科的・関連的な指導がしやすいようになっている。</p>	<p>ア 写真やイラストが余白も取られた上で掲載され、すっきりとした見やすい構成になっている。</p>	<p>ア 一つの活動単位を見開きにしており、学習活動が理解しやすい構成になっている。</p>
<u>(3) 表記・表現</u>	<p>ア 具体的な掲示物や板書例、児童のつぶやき等が示されていて、活動をイメージしやすい。</p> <p>イ 児童の表情が見える写真が多く、学習意欲を喚起しやすい。</p>	<p>ア 「せいかつことば」では、児童の語彙力向上や豊かな表現力、表現活動につなげるようにしている。</p> <p>イ キャラクターが、児童の思考を促すよう投げかけている。</p>	<p>イ 単元の導入部分では活動内容の中心について子供の言葉で表現されており、児童が共感しやすくなっている。</p> <p>イ 写真やイラストの中に、児童の思いや気付きを多く表記している。</p>
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 「ほんとうのおおきさいきものずかん」は実物大のイラストが示されており、生き物が探しやすくなっている。</p>	<p>イ 巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、必要な知識や技能の習得が図れるようになっている。</p>	<p>イ 巻末に「まなびかたずかん」が付いており、活動する際のコツやポイントが示されている。</p>

種目名[ 生活 ] No. 7-2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 26 信教 ]	発行者の番号・略称[ 38 光村 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	<p>ア 身近な生活場面の写真があり、児童が活動を自分の生活と関連付けて考えられるようにしている。</p> <p>エ 単元ごとの「わくわくスイッチ」では、フローチャートにより、自分の学習課題が設定できるようになっている。</p>	<p>見本本の送付がないため、調査研究結果なし。</p>	<p>ア 身近な生活場面から学習活動を展開している。</p>
<u>(2) 構成・分量</u>	<p>イ 「かんがえのまとめいろ」で、単元を通して学びを進められるようになっている。</p>		<p>ア 活動ごとの「ふりかえろう」では、自分の学びを振り返ることができる。</p> <p>イ 全ての小単元に学び方のヒントが設定されているため、考え方や表現のバリエーションを広げられる。</p>
<u>(3) 表記・表現</u>	<p>イ ページの端に「きづく」「かんがえる」「つたえる」などの表示により、活動のねらいが分かりやすくなっている。</p> <p>イ 植物の成長の様子が順に示され、写真を見れば分かるようになっている。</p>		<p>ア 楽しく興味をもって学習に取り組めるよう、人気作家のイラストが多く掲載されている。</p>
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 巻末の「学びのポケット」では、道具の使い方や調べ方、他教科との関連などが掲載されている。</p>		<p>ア 上巻付録「はるのなかまたち」等、取り外せるカードが付いていて、携帯して郊外の活動ができる。</p> <p>イ 単元に即した多様な資料が「別冊資料編」に掲載されている。</p>

種目名[ 生活 ] No. 7-3

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 61 啓林館 ]	発行者の番号・略称[ ]	発行者の番号・略称[ ]
<u>(1) 内容の選択</u>	<p>ア 全国四季折々の食べ物や行事が取り上げられ、児童は興味をもちやすい。</p> <p>イ 「ひろがる きもち」では、学びを発展させていきたい内容が記載されている。</p>		
<u>(2) 構成・分量</u>	<p>ア 植物の栽培では、数種類の植物が種から成長する様子が、ぱらぱらとページをめくことで捉えられるようになっている。</p> <p>ア 見開きのページの右端に、次へとつながる学習活動が提示されていて思いに基づいて展開できるようになっている。</p>		
<u>(3) 表記・表現</u>	<p>イ 単元の導入「わくわくタイム」では、大きな見開きにより、児童が課題をもちやすい。</p>		
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	<p>イ 巻末のカラー資料「がくしゅうずかん」では、活動のヒントが掲載されている。</p> <p>イ 教科書サイズが少し小さめに作られており、児童が扱いやすい。</p>		

郎

種目名[ 音楽 ] No 8-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 27 教芸 ]	発行者の番号・略称[ ]
(1) 内容の選択	<p>ア 音楽づくりの題材が充実している。</p> <p>イ 日本歌曲の掲載が高学年を中心に豊富で、題材からつないで学習できるようになっている。</p>	<p>ア 各領域のバランスがとれている。</p> <p>ア 様々なジャンルの中から選ばれている充実した歌唱教材があり、オリジナル曲も各学年の実態に合っている。</p>	
(2) 構成・分量	<p>イ まなびナビ（学び方を知ろう）は、学習のプロセスが示され、児童が見通しをもって学習を進められるような工夫がある。</p>	<p>イ 学習の見通しがもてるような紙面構成であり、また、キャラクターの吹き出しがヒントになり、学習の内容について捉えやすく、児童の学習意欲を高める工夫がある。</p>	
(3) 表記・表現	<p>ア 折り込み紙面が見やすい。</p> <p>ウ 主要部分では、「学習のめあて」「まなびナビ」が示されている。音楽を形づくっている要素を、「音楽のもと」と示されている。</p>	<p>ア イラストや文字による情報が多い。</p> <p>ウ 学習内容が見える化したアイコンが示されている。アイコンは、評価の観点にも関連している。</p>	

<p>(4) 使用上の便宜・その他</p>	<p>ア 歌唱や器楽のページにはQRコードが付いている。</p> <p>イ 君が代を尊重する態度を養えるように、高学年では、歌ったり聴いたりするときのマナーにも触れている。</p>	<p>ア 歌唱や器楽のページには二次元コードが付いており、手法や練習曲が入っており、児童の実態に応じた応用が期待できる。</p> <p>イ 君が代はどの学年も必ず巻末にあり、高学年では、歌ったり聴いたりするときのマナーにも触れている。</p>	
-----------------------	--	---	--

種目名[ 図画工作 ] No. 9-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 9 開隆堂 ]	発行者の番号・略称[ 116 日文 ]	発行者の番号・略称[ ]
(1) 内容の選択	イ 隣り合ったページで内容がリンクしているため関連させて指導が実施できるように工夫されている。	ア 一つ一つの題材ごとにどのようなことを感じ、発見してほしいのかについて丁寧に書かれている。	
(2) 構成・分量	ア 学習の進め方 ⇒ 各領域の内容・題材 ⇒ つながる造形 ⇒ 学びの資料と構成されていて、特に学びの資料コーナーは参考資料として工夫されている。学習を通して育つ3つの力を愛らしいキャラクターを使って、毎単元示すように工夫している。学習内容はバランスよく題材が構成されており、題材によっては内容の連続性をもって学習するよう工夫もみられる。SDGsを意識させている点は特徴的である。	ア 教科書の使い方 ⇒ 各領域の内容・題材 ⇒ 教材と用具の引き出しと構成されていて、合間に興味・関心を高めるコーナーなどが盛り込まれている。はじめの教科書の使い方には、図工体操や保護者の方への呼びかけ、学習の進め方などが書かれていて特徴的である。学習内容は、同じ活動が続かないようにバランスよく題材が構成されている。毎回盛り込まれている鑑賞には、注目すべきヒントが書かれている。	
(3) 表記・表現	ア 作品や活動の写真がトリミングされており、児童がワクワクするようなレイアウトになっている。また資質・能力を身に付けさせるためのめあてが各題材に設定されている。	ア 学習の流れが見えるように活動の場面ごとの写真が掲載されている。ポイントとなる道具の使い方がクローズアップされていて、細部まで注目できるため、活動のイメージが広がりやすい。	
(4) 使用上の便宜・その他	イ 二次元コードで道具の使い方などが観ることができる。動画では、キャラクターが登場し親しみやすい。全般的に文字が大きく、字体にも工夫が施され、児童が活動をイメージしやすい。	イ 二次元コードが細分化されている。道具の使い方などの動画では、端的にまとめられている。他教科との関連が示されている。	

種目名[ 家庭科 ] No 10-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 9 開隆堂 ]	発行者の番号・略称[ ]
<u>(1) 内容の選択</u>	<p>ア 実習の手順や完成図が写真を使い、細かく示されている。食材は、実寸大で紹介されている。</p> <p>ウ 学習に関連付けて、他学年や他教科で学んだことを紹介している。</p>	<p>イ ガスコンロの使用方法やジャガイモの芽の危険性など、安全に配慮した内容が多い。</p>	
<u>(2) 構成・分量</u>	<p>ア 5年―8単元、6年―7単元で構成されている。</p> <p>イ 5・6年の配列がほとんど同じで、1年を通して同じ流れで学習できる。</p>	<p>ア 5年―11単元、6年―9単元で構成されている。</p> <p>イ 一単元の内容がそれほど多くなく、児童の負担が少ない。</p>	
<u>(3) 表記・表現</u>	<p>ア 裁縫の児童が間違いやすい例を具体的に扱っており、児童が理解しやすい。</p> <p>イ 二次元コードを読み取ることで、教科書の内容が動画で確認できる。</p>	<p>イ 教科書に書き込めるスペースがあり、児童の思考の積み重ねが分かるように工夫されている。</p>	
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	<p>ア 地元の特産を生かした活動が示されており、自分たちの住む市にも興味をもちやすい。</p> <p>イ 学習の振り返りや、次へのチャレンジなど、自分の成長の記録ができ、学習に見通しがもてる。</p>	<p>ア 地域の人とのかかわりを扱う単元があり、コミュニティ・スクールの活動につなげることができる。</p> <p>ア 日本各地の名物料理を紹介しており、市の名産物にも興味をつなげることができる。</p>	

種目名[ 保健 ] No. 11-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 4 大日本 ]	発行者の番号・略称[ 50 大修館 ]
(1) 内容の選択	ア 導入が丁寧で、各単元を4つのステップで学習を進められるように設定されている。また、課題解決的な学習が進められるようになっている。	ア 各単元、「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「活かそう」の学習展開となっている。	イ トップアスリーの幼少期のインタビュー掲載があり、児童の意欲を高めることができる。
(2) 構成・分量	ア 教科書をワークシートとして活用でき、評価まですることができる1冊となっている。	ア 「ここで学ぶこと」があることで学習に入りやすい構成になっている。	ア 「考えよう」の自己を振り返りながら学習を進められる構成となっている。 ウ 二次元コードから「ほけんクイズ」にチャレンジすることができ、知識の定着を図れる。
(3) 表記・表現	イ 写真を多く掲載していて、実物や実際の場面などを見ることができ、自分の生活に結び付けやすい。	ア 一つ一つの文章が短めで読みやすい。	イ よい例と悪い例の写真やイラストを並べたり、見開き1ページを使って成長の変化を載せたりするなど比較しやすいようにしている。また、イラストを交えながら分かりやすく示している。
(4) 使用上の便宜・その他	ア 二次元コードより自社の特設サイトにつながり、内容を深めることができる。	イ 折り込みカードが付いていて、導入の段階での工夫として児童の学習を進めやすくしている。	ア 巻頭に「タブレットを使って楽しく学ぼう」というページがあり、タブレット端末を活用して動画や関連ウェブサイトなどコンテンツを選び、知識を深めることができる。



種目名[ 保健 ] No. 11・2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 207 文教社 ]	発行者の番号・略称[ 208 光文 ]	発行者の番号・略称[ 224 学研 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	ア 自分や身の回りのことを振り返るチェック欄が多く設定されていて、自分事として捉えやすくなっている。	ア 「見つけよう」「調べよう」「話そう」「生かそう」の学習順序により、課題解決型の学習展開になっている。	ア 自分の経験を振り返ったり確かめたりするところから課題を見出し、解決していく学習の流れとなっている。
<u>(2) 構成・分量</u>	イ 項目が多く、情報量が豊富で知識をたくさん得られる。	イ 分量が一番少なく、3・4年41ページ、5・6年65ページでシンプルに扱いやすい分量になっている。	イ 分量が一番多く、3・4年49ページ、5・6年89ページで一冊完結型の充実した分量になっている。
<u>(3) 表記・表現</u>	ア 構成の項目が「Mission」「Stage」「Menu」など英語表記になっていて児童の学習意欲を高める一助になっている。	ア 児童の書き込みの枠が大きくとられていて書き込みしやすい。	イ 実生活と結び付けやすい写真資料が多く掲載されている。
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	イ 二次元コードを読み取り国税庁のHP等へつながる工夫がされていて、学習の理解を深めやすい。	イ 各単元に二次元コード読み取り資料があり、光文書院の特設ページや動画資料にリンクしている。	ア 二次元コードからワークシートにアクセスでき、タブレット型端末を活用して学習しやすくなっている。

様式第1号案（第3条関係）

狛江市立学校使用教科書選定資料

教科書選定協議会会長 細谷 俊太郎

種目名[ 英語 ] No 12-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 9 開隆堂 ]	発行者の番号・略称[ 15 三省堂 ]
(1) 内容の選択	イ 6年生ではLet's Read and Writeで文字を追いながら聞くことができる。毎単元に音声と文字を関連させるページがある。	イ Let's Listen and Readで聞いた文字を追い、Let's Writeで自分のことを書くことができる。	ア Let's listen, Let's speakのコーナーがあり、質問内容がシンプルで内容量も多過ぎず、児童が課題に取り組みやすい。
(2) 構成・分量	ア Over the Horizonで、世界の言葉の背景にある様々な文化を知り、自分の考えを記述する欄がある。Small Talkで会話の内容が記載されている。 イ 発表に関連する表現例がある。単元の内容に慣れ親しむ→学習の定着を図る→英語を使う実際の場面で会話や発表をする→世界の文化を知るという流れで8つのUnitから構成されている。ペア活動やグループ活動で会話ができる。めあてやゴール、学習活動が記載されている。	ア 単元のゴールとそこにたどり着くためのステップが明確に示されている。Small talkのテーマが各ページに書いてあり、活用できる。 イ 友だちと関わりをもちながら、課題解決する取組がある。	ア partごとに分かれていて、Let's watch, listen, speak, play, talkなどそれぞれの技能について適量の問題が設定してある。単元ごとのゴールが設定されているが、スモールトークについての記載はない。 イ 友だち同士でコミュニケーションを取れるような課題の取組がある。ペアでの活動練習ができる。
(3) 表記・表現	イ 適宜絵や写真が入っている。淡い色が多く、見やすい。四線の第二線と第三線の間隔が広い。	ア 読みごたえのある文字量で説明が記載されている。 イ 淡い色合いで刺激が少ない。四線の第二線と第三線の間隔が若干広い。	ア 文字が多過ぎず、イラストのヒントを見ながら課題に取り組める。
(4) 使用上の便宜・その他	イ 単語やセンテンスが四線に載っている。My Picture Dictionaryがついている。目次、索引、カテゴリーが載っている。教科書、My Picture DictionaryともにA4サイズ。リスニングやスピーキングの書き込みができる欄が多い。4技能5領域がマークで示されている。Can-DoリストがMy Picture Dictionaryの巻末にある。二次元コードから入れる動画には、モデル映像があり、発音の参考になる。	ア 5年生では友達や身の回りのことを、6年生では外国の人や文化を題材に学べる。 イ A4サイズ。別冊でワードブックが付いており、四線上にワードが載っている。書き込みの分量は普通。Can Doリストが巻末に付いており、カテゴリーごとの目次や索引から探せる仕組みになっている。全Unitに二次元コードが付いており、デジタル教科書になっている。音声付き静止画を活用できる。	イ My Dictionaryという、表現や語句をまとめたワードリストが付いている。語句の意味を確認したり、既習事項を復習したりするのに役立つ。大きさはA4サイズ。書き込み分量は普通。Can do listが巻末に載っている。ジャンルごとの索引から言葉を調べられる。ワークシート集が付いている。全Unitに二次元コードが付いており、デジタル教科書になっている。音声付き静止画を活用できる。

種目名[ 英語 ]\_No 12-2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 38 光村 ]	発行者の番号・略称[ 61 啓林館 ]
<u>(1) 内容の選択</u>	<p>ア シンプルな流れで単元構成されている。</p> <p>ウ SDGs や世界の動物の単語など、英語の技能以外にも視野を広げられる内容が含まれている。イラストだけでなく、外国の写真などが使用してあり、外国についてイメージしやすい。</p>	<p>イ 学習ごとにLet's write and readで書きながら読んだり、発音のワンポイントアドバイスが記入されていたりして、理解しやすい内容になっている。</p>	<p>ウ Did you know では、世界のいろいろな文化や人物に触れることができる。</p> <p>エ 社会科、総合、算数など他教科との関連を意識したページや、SDGsを意識したページがある。</p>
<u>(2) 構成・分量</u>	<p>ア 巻末のワークシートやカードが充実しており、児童の課題解決を促す期待ができる。各単元のゴールが示されている。</p> <p>ウ 各単元の終わりに復習のページが用意されている。</p>	<p>ア Hop! Step Jump!の順で、単元のゴールに向けスモールステップで学習が進められる構成になっている。</p> <p>イ 外国の友達にインタビューをしたり、日本の文化を紹介する活動をしたりして、英語によるコミュニケーションが必要であることを理解しながら学習が進められる。Small talkのテーマが各ページに書いてあり、活用できる。班活動やペア活動が多く、協働的な学習が可能である。</p>	<p>ア Activityではペアやグループでの活動場面が多く、協働的な学習を意識している。</p> <p>イ introduction ⇒ watch the scene ⇒ words and phrases ⇒ listen and do ⇒ chant ⇒ activityの順番に進め、1つの単元でこの流れを3回行うようになっている。学期末のTRYはパフォーマンステストに使え、コミュニケーションのポイントも載っている。</p>
<u>(3) 表記・表現</u>	<p>ア 巻末の単語一覧は、すべての単語が4線の上に書かれているので、文字の書き方を確認しながら活用できる。</p>	<p>イ 英単語や文章など、基本的にカラーのイラストや写真入りなのでイメージをもちやすい。</p>	<p>イ イラストや写真が多く使用されており、色が目に優しい。第2線と第3線の感覚がやや広い。</p>
<u>(4) 使用上の便宜・その他</u>	<p>ア シールや付録が付いていて、さらにゲームの活動が多く掲載されており、楽しみながら学べる。</p> <p>イ 二次元コードが付いているUnitには、イラスト静止画で発音を聞いたり、歌やチャンツを聞いたりすることができる。切り取り式のワードリストが巻末にあり、4線ではなく、一本線の上に書いてある。教科書に書き込みながら学習できる。ワードリストはカテゴリーごとにまとめてある。各単元末に振り返りのコーナーがある。</p>	<p>ア 巻末に載っている英単語集が小冊子になっている。英単語がカテゴリーごとに分かれていて見つけやすい。英単語が四線の上に書かれているので、理解しやすい。教科書に付属しているので、扱いやすい。また、教科書から取り外して使うこともできる。</p> <p>イ 全Unitに二次元コードが付いており、イラスト静止画で音声聞くことができる。</p>	<p>イ Activityの「書く」コーナーは、自分のことや自分の考えを含めて書くようになっている。4技能5領域がマークで表示されている。巻末に、UnitごとのCan-do listが載っている。大きさはA4サイズ。全Unitに二次元コードが付いており、動画の中には、モデル映像があるため発音の参考になるものもある。</p>

種目名[ 道徳 ] No 13-1

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 2 東書 ]	発行者の番号・略称[ 17 教出 ]	発行者の番号・略称[ 38 光村 ]
(1) 内容の選択	ア 有名教材が組み込まれている。また、中学年、高学年の教材には、現在活躍する著名人の教材や、歴史上の人物の教材がバランスよく取り入れられている。	ア 目次に、「特に大切にするテーマ」「問題解決力を養う教材」「体験しながら考える教材」には特別なマークがついている。	ア 全ての内容項目がバランスよく入っている。特に、D項目「生命の尊さ」は教材数が多く設定されている。
(2) 構成・分量	ア 各教材とも、最後に中心発問や振り返りの発問が掲載されている。	ア 題材ごとに「考えよう→深めよう→つなげよう」の構成になっている。	ア 「考えよう・話し合おう」「つなげよう」といった視点が示されているので、誰でも道徳授業を展開しやすいようになっている。
(3) 表記・表現	ア 意味が難しい言葉について、文末に注釈が掲載されている。 ア イラストが大きく、文字とのバランスがよい。また、UDフォントで見やすく、分かりやすい。	イ イラストが大きく、挿絵や写真における人物等の表情が分かりやすい。 イ 内容で扱った国の様子が分かる写真を掲載しており、低学年にも分かりやすい。	ア 字体やポイントが、各学年の発達段階に合っていて読みやすい。 イ 高学年でも、挿絵や写真が大きく、内容を捉えやすい。
(4) 使用上の便宜・その他	ウ 考えるためのツールが巻末に掲載されている。また、教材一覧表が巻末に掲載されており、内容項目・教材・関係するテーマ・他教科との関連が示されている。	ウ 学習をより深めるためにタブレットの活用方法が掲載されている。 ウ まなびリンクを活用することができる。	ウ 考えをより深めるための考えのヒントが（役割演技や図を使った表し方など）提示されているため、自分の考えを表現することに苦手を感じる児童にとっては手立ての一つとなる。

種目名[ 道徳 ] No 13-2

調査研究の観点	調査研究の内容		
	発行者の番号・略称[ 116 日文 ]	発行者の番号・略称[ 208 光文 ]	発行者の番号・略称[ 224 学研 ]
(1) 内容の選択	イ 歴史上の人物や今現在活躍している人物の資料など、幅広く取り上げられており、児童の興味・関心を引く内容になっている。	ア 教科書のはじめに、道徳科の内容項目や自分の考えのまとめ方、話し合いの仕方など学びの進め方を詳しく示している。	ア 生命、多様性、キャリア教育、情報モラル、いじめ防止など豊富なテーマに対応した教材を取り扱っている。
(2) 構成・分量	ア どの資料にも「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」があり、どのようなことを児童に考えさせたらよいか、授業を構成するのに役立てることができる。	ア 題材ごとに、「見つけよう→考えよう→まとめよう→ひろげよう」の構成になっている。	ア 低学年ではAの項目が多く、学年が上がるにつれ、学年に合った内容の取扱いが増えている。高学年ではCの項目が多い。
(3) 表記・表現	ア 「考えをぐっと深めるためのページ」にマークが付いており、話し合ったり役割演技をしたりと、児童の思考を深める工夫がされている。 イ 図や写真が大きく、色がきれいで見やすい。文字の事態が柔らかくて読みやすい。	ア ユニバーサルデザインに配慮している。 イ 登場人物が多い物語では、はじめに登場人物の名前とイラストを掲載しており、分かりやすく配慮されている。中学年までの教科書では、台詞の部分にもイラストと名前が示されている。	ア 教材を読みたくなるようなキープレーズや視認しやすく色分けしたマーク色分けしたマークなどがあり、直感的に学習を進めやすい。 ア ユニバーサルデザインに配慮した字体になっている。
(4) 使用上の便宜・その他	ウ 付属で「道徳ノート」が付いていて、教師の授業準備の負担が少なくなる。「道徳ノート」は発問がなく、自由に書ける形式になっているので、児童の実態に応じて書く内容を変更できる。毎時間自己の振り返りをチェックする欄があり、学習の振り返りに役立つ。	イ ①友達とコミュニケーションをとる活)、②学年に応じた SNS や端末機器の使い方を学ぶ資料、③教材との関連で、心の力を育てる方法を考える資料、④SDGs と教材との関連や、自分たちにできそうなことを考える資料、⑤偉人の詩を掲載している。	ウ 指導書には ICT を活用した指導案が多数掲載されている。 ウ 深めよう、心のパスポートが記載されており、教材に関連させて考えを深められるようになっている。